

令和5年度事業計画

国内で新型コロナウイルスが確認されてから現在、感染拡大防止のために生活意識・行動等の様々な面で変化を求められ、それは経済にも大きな影響を与え続けています。シルバー人材センター事業も例外ではなく、就業先での契約終了や入会希望者・就業希望者の減少といった事例として表れています。

このような社会情勢ではありますが、高齢者が社会を構成する一員として活躍する場を提供出来るシルバー人材センターの重要性は益々高くなっております。

今後におきましては、高齢者が主体性を持ち、培ってきた経験・知識を生かし、現役世代を支える側としてサポートすることが出来るよう、シルバー人材センターでは次の事業を推進いたします。

1. 普及啓発の推進

センター事業の取扱内容を一般家庭・事業所・各種団体に周知を図り、仕組みを浸透させるため各地域の催しに参加し、「シルバーの日」にボランティア活動を実施すると共に、行政機関等と連帯・協調を強め、パンフレットの配布、市広報を活用して普及啓発を図る。

2. 会員の増強と資質の向上

広報誌の活用・地域の催しでのパンフレット配布・会員の口コミによる啓発宣伝活動を徹底し、健康で働く意欲がある会員の増大を図る。

発注者より高い評価を得られるよう、就業に必要な知識と技能・技術を習得するために各種講習会等の開催を推進し、好感と信頼の得られる会員の育成をする。

3. 安全・適正就業の徹底

事故の未然防止のため、安全・適正就業委員会委員による就業現場の安全パトロールを強化し、安全就業対策の徹底を図る。また、機械・器具の安全点検を実施する。

就業中及び就業途上の事故防止のため、安全意識向上の徹底を図る。

4. シルバー派遣事業の推進

公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団との連携を図り、シルバー人材センター等一般労働者派遣事業を推進する。